

同窓会地域支部と本部との情報・意見交換会を開催しました。

同窓会地域支部と本部との情報・意見交換会を学長、大学事務局次長の出席のもと下記のとおり開催しました。同窓会本部および事務局から議題について説明し、意見交換を行いました。

本学同窓会の各地域支部として北海道、青森県、新潟県、山形県、岩手県（北上）、関東圏から支部役員1～2名参加いただき、活発な情報交換を行い、特に各支部からは、「コロナ禍での十分活動が出来なかった中での状況や計画」、「会員名簿の把握」、「同窓会会費の未納」、などについて報告や意見が出されました。

情報・意見交換会終了後、出席者全員による懇談会を行いました。新型コロナが第5類感染症に位置づけられたこともあり、久しぶりに和らいだ雰囲気に対面での情報交換となりました。

記

日 時：令和5年5月27日（土） 16:00～17:00～19:00 頃

※情報・意見交換会終了後懇談会開催

場 所：ホテルメトロポリタン仙台 21階 ラ・ボーン

出席者：

大 学 渡邊浩文 学長、川村弘昭 大学事務局次長

地域支部 山口龍彦・奥塚恒一（北海道）、向井務・工藤孝善（青森）、
動山憲一・吉原一博（新潟）、松田隆志・石山徳昭（山形）、
井出幸成（関東）、八重樫実・佐藤功（北上）

本 部 西條芳郎副会長、佐藤明副会長、中島敏副会長、今野弘特別顧問

事 務 局 高橋正行

開 会

出席者紹介

会長挨拶（西條芳郎副会長より）

議 事：

1. 今後の同窓会本部の活動について

- （1）青森県父母懇談会における地域企業説明会の開催支援

令和5年6月4日（日）

- （2）新潟県支部総会への役員派遣

令和5年6月4日（日）

- （3）同窓会関東圏支部設立に向けた発起人会の開催支援

令和5年7月9日（日） 11:30～14:30 東京ガーデンパレス

- （4）令和5年度同窓会総会の開催 ※ホームカミングディ・大学見学会開催

令和5年10月14日（土）

- （5）同窓会関東圏支部設立総会の開催支援

令和5年11月26日（日） 11:30～14:30 東京ガーデンパレス

2. TOHTECH2023 募金事業活動の報告について

標記募金事業の現在の募金状況の報告の後、最終年度となる今年度の募金事業への協力要請があった。同事業の推進にかかる委員会開催予定は以下の通り。

- (1) TOHTECH2023 募金事業幹事会の開催 開催日調整中
- (2) TOHTECH2023 募金事業実行委員会開催 幹事会で実行委員会開催を検討

3. その他

- (1) 同窓会 Web サイトのリニューアル
会員データ変更、会員情報、企業紹介、支部情報などをリニューアル
- (2) 新潟市での研究ブランディング事業円卓会議開催支援

4. 各支部会からの事業報告と事業計画について

5. その他

※主な各支部からの意見・提案

○北海道支部

- ・560名の会員を把握（以前は約800名）している。会費なし。支部だよりを発行
- ・札幌で集まることが多い（広いので会員の中には4~5時間を要する場合あり）
- ・土木、建築、工業意匠卒がほとんど、人脈を活用した芋ずる式的な拡大を狙っている
- ・2027年に半導体工場（雇用1000名の技術者）が出来る予定で期待している
- ・年2回程度の情報交換、北海道科学大学との定期戦と併せて交流会を開催
- ・あまり無理をしない支部運営を考えている
- ・退職された先生方の近況を知りたい

○青森県支部

- ・コロナ禍ではあったが幹事会は続けており、3月に開催
- ・大学および同窓会本部から TOHTECH2023 事業への協力他具体イベントの開催要請あり、その中で青森県内の企業紹介（会員企業3社程度、1社は資料提供）を父母懇談会で開催
- ・来年は、支部総会や円卓会議の開催も6月の父母懇談会に合わせて計画し、次の幹事会で諮る予定

○新潟県支部

- ・令和5年6月4日（日）に第27回目の支部総会を開催
- ・支部総会後の懇談会では後援会出席者（後援会役員や父母）も参加予定、交流を図っている
- ・支部の会員は約450名で1割（50通ほど）は返信がある。住所は正しいようで不達返信はなし
- ・幹事は15名。若い方を増やしたい。円卓会議を活かしたい。幹事会は2回/年
- ・名簿の更新やメールアドレスを知りたい
- ・7月に有志の会で長岡視察研修の実施、ゴルフ大会なども開催している
- ・10月の本部総会には、支部から数名を派遣したい

○山形県支部

- ・令和元年に山形県支部の設立総会を開催したが、その直後に後コロナの影響を受けた

- ・県内の会員名簿が出来ていない、卒業生のメールアドレスが欲しい

○関東圏

- ・関東圏支部設立のため、7月9日に設立発起人会、総会を令和5年11月26日（日）に予定している
- ・工業意匠卒の知り合いが多く、集まるようになって親睦を図ることで、同窓会はビジネスとしても貴重な場になると考えている
- ・会費を納めたのか不明との会員もいた

○岩手県（北上支部）

- ・北上支部には50名ほどの会員がいる。盛岡でなくてもよいという考え方
- ・2月に開催した北上支部総会約30名の出席があり、後援会から参加があった。後援会役員にも広げて幹事会を実施している
- ・10月の本部総会には会員を募り(貸し切りバスで)参加したい
- ・2月の支部総会時にTOHTECH2023募金を行い、本部事務局に手渡した
- ・支部関連の企業には1社あたり5万円程度の募金協力をお願いしている

◎同窓会本部事務局から

- ・名簿については、昨年、現住所把握の調査を「工大人」送付時にハガキを同封して行った
- ・名簿は個人情報の取扱い等で課題が多く発行は難しいが、支部会員住所については、支部事務局と情報を共有したい
- ・同窓会のホームページをリニューアルした。「会員データ変更」では現住所やメールアドレスについても変更が可能であり、活用を期待したい
- ・現在の学生は卒業時に卒業後も使用できるメールアドレスが大学から付与されている
- ・現在は、会費未納な卒業生には「工大人」の発送を行ってないが、今後未納な卒業生が納入しやすくするための検討は必要に思う
- ・本部同窓会総会(併せて工大祭・ホームカミングディ・大学見学会等)に複数人数が参加の場合、本部同窓会から貸し切りバスの借上げをしたい

◎学長から

- ・同窓会と後援会や大学との連携は、少子化の中で北日本にある工業大学として発展するためにも重要と考えている
- ・近年注力しているのは、AI、そしてグリーンテクノロジー
- ・この4月より新しいスローガン「未来のエスキースを描く。」を制定。「エスキース」とは素描、素案等を意味するフランス語、未来のエスキースをそれぞれが豊かに描けるよう、そして楽しいキャンパスライフを送ることができるよう、新たな東北工業大学を創っていきたい
- ・大学創設60周年(2024年)の記念事業は、同窓会とも連携して進めたい

同窓会地域支部と本部との情報・意見交換会の様子







